

# 目次

## 日本語版への序

1956年 W.B.Shockley, J.Bardeen, W.H.Brattain	5
授賞のことば	7
バーディーン	
講演 点接触トランジスタに至る半導体研究	11
経歴	37
ショクレー	
講演 新しい物理学を呼び起こすトランジスタ工学	40
経歴	75
ブラッタン	
講演 半導体表面の性質	78
経歴	88
1957年 C.N.Yang, T.D.Lee	91
授賞のことば	93
ヤン	
講演 偶奇性の保存則その他物理学における対称性の法則	98
経歴	111
リー	
講演 弱い相互作用と偶奇性の非保存	113
経歴	127

1958年 P.A.Cherenkov, I.M.Frank, I.E.Tamm—————129

授賞のことば…………… 131

#### チェレンコフ

講演 超光速で運動する粒子の放射と、それを実験物  
理学で利用するいくつかの可能性について…………… 135

経歴…………… 150

#### フランク

講演 屈折性媒質中で運動する光源の光学…………… 151

経歴…………… 178

#### タム

講演 超光速で運動する系から放出された放射の一般的  
性質とプラズマ物理学への応用について…………… 179

経歴…………… 192

#### 受賞者の年表

1956—1958年度のノーベル化学賞

1956—1958年度のノーベル生理学・医学賞

編者あとがき

人名さくいん